



西中学校評価だより

UNESCO・西中

自立、共生、貢献

2026・10・8

※肯定的評価が85%以上を「A」、70%以下を「C」として評価判定しています。

知

<確かな学力 『自ら学ぶ姿勢を育て、学力の向上を図る』>

【重点評価・目標値】

○生徒アンケートで『**もっと学びたい**』『**もっとできるようになりたい**』という意欲をもって授業に取り組むことができた」において、**肯定的評価が85%以上**となる。

【目標達成に向けた今年度の取組】

○ファシリテーションスキルの活用と自主学習の奨励・家庭学習の支援

・ファシリテーションスキルの手法を取り入れ、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」に向けた授業改善に取り組む。また、「理解の深まり」と「意欲の向上」の支援にも努める。



アンケート結果

Q. ふだん(月曜～金曜日)1日あたりどのくらい家庭学習(宿題、学習塾を含む)をしていますか。

今回(R8前期)の結果

評価	1年	2年	3年	全校
120分以上	3.0%	5.3%	7.9%	5.6%
90～119分	3.0%	4.3%	23.6%	10.8%
60～89分	28.8%	22.3%	25.8%	25.3%
50～59分	16.7%	10.6%	9.0%	11.6%
40～49分	18.2%	10.6%	5.6%	10.8%
30～39分	21.2%	27.7%	15.7%	21.7%

昨年度(R7後期)の結果

評価	1年(今年度の2年)	2年(今年度の3年)	3年	全校
120分以上	1.0%	2.2%	10.3%	4.5%
90～119分	10.0%	8.9%	41.2%	20.2%
60～89分	29.0%	43.3%	29.9%	33.8%
50～59分	50.0%	33.3%	13.4%	32.4%
40～49分	8.0%	11.1%	3.1%	7.3%
30～39分	2.0%	1.1%	2.1%	1.7%

総合評価：B

平日の家庭学習時間の推移を昨年度と比較すると、90分以上学習する生徒が微増した一方、30分以下という生徒も14%います。全体的には1時間以上学習する生徒が4割を占めていますが、学習時間だけを見れば二極化傾向が見られます。

学習時間の推移だけで『自ら学ぶ姿勢を育て、学力の向上を図る』すべての結果を判断することはできませんが、今回の結果を踏まえた上で、今後さらに「自ら学ぶ姿勢」をもちつつ学習に取り組み、その結果としての「学力の向上」につなげていくための支援に努めて参ります。

後期の重点取組

- 自主学習の奨励など、家庭学習の支援(特に予習的な学習への取組)
- ガイダンス機能の充実、学習課題の工夫

【重点評価・目標値】

○生徒アンケートで、「失敗を恐れなくて挑戦していますか」において、肯定的評価が85%以上となる。

○生徒アンケートで「自分には良いところがあると思いますか」において、肯定的評価が80%以上となる。

【目標達成に向けた今年度の取組】

○チャレンジの土台となる心理的安全性のある集団づくりの推進

・生徒自らの手で集団生活を向上させるよう、自治的・自発的活動を支援しました。



アンケート結果

項 目	R7 後期結果	R8 前期結果	評価
「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」生徒の割合	80%	78%	B
「自分には良いところがあると思う」生徒の割合	82%	77%	B
「地域の人に進んであいさつをしている」生徒の割合	85%	82%	A
「人の役に立つ人間になりたいと思っている」生徒の割合	93%	93%	A
「友達の良いところや頑張っているところを見付け、友達のことを大切にしている」生徒の割合	— (R8 新設)	98%	A
「自分の住んでいる地域や見附のことが好き」な生徒の割合	— (R8 新設)	91%	A
※肯定的な回答が低い項目 「将来の夢や目標をもっている」生徒の割合。	62%	66%	C

総合評価：A

ほぼ全ての項目において、昨年度並みの結果となりました。今年度新設された項目はどちらも肯定的回答が90%を超え、友達を思いやろうとする生徒の割合や、地域に対する愛着がどちらも高い数値となっています。一方で、将来に対する夢や目標を具体的にもっている生徒の割合は以前低く、地域やコミュニティの行事に参加する生徒も少ない現状が伺えます。

今後本格的に始まる部活動の地域展開やキャリア教育をととして、地域との連携活動を大切にしながら、地域社会に貢献する人材の育成に努めてまいりますので、引き続き教育活動への御協力をお願いいたします。

後期の重点取組

- アントレプレナーシップ教育の視点を取り入れたキャリア教育の充実
- 「キャリアアンカー」をキーワードに、自己実現への支援の実施

【重点評価・目標値】

○家庭学習の時間だけでなく、睡眠時間を適切に確保しながら、トで「平日毎日朝食を食べる」において、肯定的評価が90%以上となる。

○家庭内でも自らメディアコントロールできる力をもち、健やかな心身を自分の手でつくることのできる生徒の育成

【目標達成に向けた今年度の取組】

○基本的生活習慣の確立

・メディアコントロールや効果的な時間活用(タイムマネジメント)による生活の質の向上への意識を高める。

アンケート結果

【朝食を毎日食べていますか（土日含）】

評価	1年	2年	3年	全校
だいたい毎日	93.9%	90.4%	91.0%	91.6%
4, 5日	3.0%	4.3%	3.4%	3.6%
1～3日	1.5%	1.1%	1.1%	1.2%
0日	1.5%	4.3%	4.5%	3.6%

【平日8時間以上睡眠をとる日数】

評価	1年	2年	3年	全校
4, 5日	48.5%	42.6%	32.6%	40.6%
2, 3日	36.4%	34.0%	31.5%	33.7%
1日	3.0%	13.8%	19.1%	12.9%
0日	12.1%	9.6%	16.9%	12.9%

○平日（月～金曜）1日あたり、どのくらいの時間ゲームやインターネット、スマートフォンなどでのメッセージアプリ等を利用しますか。

【各学年の現状の人数割合】

評価	1年	2年	3年	全校
1時間未満	6.1%	7.4%	5.6%	6.4%
1～2時間	39.4%	26.6%	48.3%	37.8%
3～4時間	37.9%	41.5%	29.2%	36.1%
4時間以上	16.7%	24.5%	16.9%	19.7%

【保護者アンケートより】

○ゲームやスマートフォンなどの使い方について、ルールや約束を決めている **73%** (昨年比-4%)

○子どもは、そのルールや約束したことを守っている。

76% (昨年比+2%)

総合評価：B

今年度も情報通信機器の使用時間の超過と睡眠時間の減少が西中学校の課題です。9割以上のご家庭では、朝食を毎朝しっかり食べるという肯定的な結果が見えた一方、依然としてゲームやSNS等、ICT機器の使い方に課題のある生徒も散見されます。今後ともご家庭と連携しながらより良い生活リズムの確立に向けての指導を継続していきます。

後期の 重点取組

●メディアコントロールやタイムマネジメントによる基本的な生活習慣の確立